



## 2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月3日

上場会社名 レンゴー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3941 URL <https://www.rengo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 川本 洋祐

問合せ先責任者 (役職名) 理事 経本部長兼経理部長 (氏名) 山崎 宏信

TEL 06-6223-2371

四半期報告書提出予定日 2021年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	180,778	9.7	11,262	18.1	12,634	24.4	12,328	77.5
2021年3月期第1四半期	164,778	2.2	9,533	12.6	10,158	13.7	6,946	13.1

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 17,126百万円 (87.9%) 2021年3月期第1四半期 9,113百万円 (64.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	49.79	
2021年3月期第1四半期	28.06	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	898,311	338,895	36.4
2021年3月期	869,992	324,463	36.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 327,031百万円 2021年3月期 313,326百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		12.00		12.00	24.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		12.00		12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	358,000	8.7	21,000	17.8	22,000	13.8	15,000	15.5	60.59
通期	723,000	6.2	42,000	5.2	44,000	1.9	30,000	4.9	121.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、[添付資料]P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	271,056,029 株	2021年3月期	271,056,029 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	23,427,102 株	2021年3月期	23,471,185 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	247,618,679 株	2021年3月期1Q	247,587,372 株

(注)当社は、前第2四半期連結会計期間より、取締役等に対し、信託を用いた株式報酬制度を導入しており、当該信託口が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、[添付資料]P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、昨年の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う景気悪化から、需要が回復傾向となったことに加え、特別利益に固定資産売却益を計上したことから、増収増益となりました。

この結果、売上高180,778百万円(前年同期比109.7%)、営業利益11,262百万円(同118.1%)、経常利益12,634百万円(同124.4%)、親会社株主に帰属する四半期純利益12,328百万円(同177.5%)となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用が経営成績に与える影響の詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)、(収益認識に関する会計基準等の適用)および(セグメント情報等)、(セグメント情報) 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの概況は、次のとおりであります。

[板紙・紙加工関連事業]

板紙・紙加工関連事業につきましては、販売量が増加し、増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は110,826百万円(同105.0%)、営業利益は8,299百万円(同118.0%)となりました。

[軟包装関連事業]

軟包装関連事業につきましては、連結子会社の増加により増収となりましたが、固定費の増加等により減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は22,857百万円(同119.0%)、営業利益は813百万円(同85.6%)となりました。

[重包装関連事業]

重包装関連事業につきましては、収益認識に関する会計基準の適用および原料価格の上昇により、減収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は10,517百万円(同96.7%)、営業利益は532百万円(同96.4%)となりました。

[海外関連事業]

海外関連事業につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大によって落ち込んだ需要が、回復傾向となったことにより、増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は28,609百万円(同132.4%)、営業利益は1,126百万円(同194.5%)となりました。

[その他の事業]

その他の事業につきましては、貨物量の回復に伴う運送事業の採算改善により増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は7,965百万円(同106.2%)、営業利益は482百万円(同130.6%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、主に受取手形及び売掛金の増加や有形固定資産の増加により、898,311百万円となり、前連結会計年度末に比べ28,319百万円増加しました。

負債は、主に長短借入金の増加により559,416百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,887百万円増加しました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加や、為替レートの変動に伴う為替換算調整勘定の増加により、338,895百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,432百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は36.4%となり、前連結会計年度末に比べ0.4ポイント上昇しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点では不確定要素が多いため、2021年5月13日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	52,380	51,316
受取手形及び売掛金	197,190	208,099
商品及び製品	25,858	27,057
仕掛品	3,773	4,874
原材料及び貯蔵品	22,176	23,755
その他	8,251	8,124
貸倒引当金	△654	△672
流動資産合計	308,976	322,556
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	272,573	286,678
減価償却累計額	△166,333	△170,391
建物及び構築物(純額)	106,240	116,286
機械装置及び運搬具	552,944	560,341
減価償却累計額	△433,790	△442,410
機械装置及び運搬具(純額)	119,154	117,931
土地	118,608	120,752
建設仮勘定	8,750	12,496
その他	38,807	40,885
減価償却累計額	△24,466	△25,870
その他(純額)	14,340	15,014
有形固定資産合計	367,094	382,481
無形固定資産		
のれん	19,157	19,786
その他	16,117	16,320
無形固定資産合計	35,274	36,106
投資その他の資産		
投資有価証券	136,172	133,525
長期貸付金	406	474
退職給付に係る資産	3,159	3,154
繰延税金資産	1,946	1,823
その他	17,968	19,488
貸倒引当金	△1,006	△1,299
投資その他の資産合計	158,646	157,166
固定資産合計	561,016	575,755
資産合計	869,992	898,311

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	112,897	117,840
短期借入金	104,586	107,406
1年内償還予定の社債	10,030	10,152
未払費用	26,748	24,741
未払法人税等	7,483	3,297
役員賞与引当金	252	-
関係会社整理損失引当金	470	470
その他	32,277	33,598
流動負債合計	294,747	297,507
固定負債		
社債	65,030	65,187
長期借入金	141,294	149,531
繰延税金負債	22,421	23,455
役員退職慰労引当金	635	591
役員株式給付引当金	208	265
退職給付に係る負債	11,578	12,406
その他	9,614	10,471
固定負債合計	250,782	261,909
負債合計	545,529	559,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,066	31,066
資本剰余金	33,731	33,734
利益剰余金	215,899	225,265
自己株式	△12,253	△12,217
株主資本合計	268,443	277,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,787	33,325
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	5,394	12,279
退職給付に係る調整累計額	3,701	3,577
その他の包括利益累計額合計	44,883	49,182
非支配株主持分	11,136	11,863
純資産合計	324,463	338,895
負債純資産合計	869,992	898,311

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	164,778	180,778
売上原価	132,845	144,425
売上総利益	31,933	36,352
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	5,351	6,239
給料及び手当	6,991	7,812
のれん償却額	492	533
その他	9,563	10,504
販売費及び一般管理費合計	22,399	25,089
営業利益	9,533	11,262
営業外収益		
受取利息	97	95
受取配当金	872	842
持分法による投資利益	342	654
その他	420	699
営業外収益合計	1,733	2,293
営業外費用		
支払利息	432	402
その他	676	519
営業外費用合計	1,109	921
経常利益	10,158	12,634
特別利益		
固定資産売却益	7	4,483
受取保険金	84	-
その他	110	646
特別利益合計	202	5,130
特別損失		
環境対策費	-	264
固定資産除売却損	247	97
新型コロナウイルス感染症関連損失	243	-
その他	126	50
特別損失合計	616	411
税金等調整前四半期純利益	9,743	17,352
法人税、住民税及び事業税	1,621	3,055
法人税等調整額	1,077	1,671
法人税等合計	2,699	4,727
四半期純利益	7,044	12,625
非支配株主に帰属する四半期純利益	97	296
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,946	12,328

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	7,044	12,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,465	△2,466
為替換算調整勘定	△2,172	4,532
退職給付に係る調整額	31	△120
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,255	2,555
その他の包括利益合計	2,069	4,501
四半期包括利益	9,113	17,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,058	16,628
非支配株主に係る四半期包括利益	55	497

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、一部の取引に係る収益について、従来は、顧客から受け取る対価の総額で収益を認識していましたが、顧客への財またはサービスの提供における役割(本人または代理人)を判断した結果、総額から仕入先に対する支払額を差し引いた純額で収益を認識する方法に変更しております。

また、原材料を支給し、加工後の製品を買い戻した上で第三者に販売する有償支給取引について、従来は、支給先から受け取る対価を収益として認識していましたが、当該収益を認識しない方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,409百万円減少し、売上原価は2,989百万円減少し、販売費及び一般管理費は423百万円減少しております。また、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益および利益剰余金の当期首残高に与える影響は軽微であります。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 ※1 (百万円)	調整額 ※2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 ※3 (百万円)
	板紙・ 紙加工 関連事業 (百万円)	軟包装 関連事業 (百万円)	重包装 関連事業 (百万円)	海外 関連事業 (百万円)	計 (百万円)			
売上高								
外部顧客 への売上高	105,590	19,206	10,873	21,605	157,276	7,502	—	164,778
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	460	39	676	1,125	2,301	6,593	△8,895	—
計	106,051	19,245	11,549	22,730	159,577	14,096	△8,895	164,778
セグメント利益	7,036	950	552	579	9,119	369	44	9,533

※1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内における不織布、紙器機械の製造・販売、運送事業、保険代理業、リース業および不動産業を含んでおります。

※2 セグメント利益の調整額44百万円は、セグメント間取引消去であります。

※3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 ※1 (百万円)	調整額 ※2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 ※3 (百万円)
	板紙・ 紙加工 関連事業 (百万円)	軟包装 関連事業 (百万円)	重包装 関連事業 (百万円)	海外 関連事業 (百万円)	計 (百万円)			
売上高								
外部顧客 への売上高	110,826	22,857	10,517	28,609	172,812	7,965	—	180,778
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	672	119	795	1,082	2,669	6,919	△9,588	—
計	111,499	22,977	11,313	29,691	175,481	14,885	△9,588	180,778
セグメント利益	8,299	813	532	1,126	10,772	482	8	11,262

※1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内における不織布、紙器機械の製造・販売、運送事業、保険代理業、リース業および不動産業を含んでおります。

※2 セグメント利益の調整額8百万円は、セグメント間取引消去であります。

※3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「板紙・紙加工関連事業」の売上高は2,673百万円減少し、「軟包装関連事業」の売上高は87百万円減少し、「重包装関連事業」の売上高は646百万円減少し、「その他」の売上高は1百万円減少しております。また、セグメント利益に与える影響は軽微であります。